

世界ラリー選手権
(Rally Japan 2025) における
経済波及効果調査報告書

令和8年2月
豊田市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
II. 経済波及効果の結果	2
1. 世界ラリー選手権 (ラリージャパン 2025)の経済波及効果計測結果 ..	2
2. 経済波及効果計測の詳細	3
III. アンケート調査結果	4
1. 調査結果一覧	4
2. 調査結果からの考察	36

I. 調査の概要

1. 調査目的

豊田市が主催する世界ラリー選手権「ラリージャパン 2025」が、日本全国にもたらす経済波及効果を計測する基礎資料とするために実施した。

2. 調査方法

➤ 調査方法：

豊田スタジアムサービスパーク（以下、豊田スタジアム SPと記す）・

豊田市 SSS 白浜公園会場（以下、豊田市 SSSと記す）・

三河湖 SS 会場（以下、三河湖 SSと記す）・

豊田市駅前での調査員の聞き取りによるアンケート調査

➤ 調査地点・日時：

令和7年 11月8日（土）

豊田市 SSS 13:00～16:30

豊田市駅前 13:00～16:30

令和7年 11月9日（日）

三河湖 SS 10:00～13:30

豊田スタジアム SP 10:00～13:30

➤ 調査人員：延べ 16名

➤ 回収枚数：507枚（目標数：400枚）

II. 経済波及効果の結果

1. 世界ラリー選手権(ラリージャパン 2025)の経済波及効果計測結果

◆経済波及効果総額	約 133 億 2,500 万円
◆来場者数	有料エリア：73,600 人 無料エリア：457,000 人

表 1 経済波及効果一覧 (単位：百万円)

直接効果	第 1 次波及効果	第 2 次波及効果	総合効果
6,234	4,201	2,889	13,325

◇経済波及効果とは

経済波及効果とは、新たな消費（新規需要額）が発生した場合に、その需要を満足するための生産に向けて、必要とされる（中間投入される）財・サービスの需要を通して、各部門の生産がどれだけ発生するかを金額で示したものである。

今回の経済波及効果の測定においては、以下に示す直接効果に第 1 次波及効果と第 2 次波及効果を加えたものを経済波及効果としている。

➤ 直接効果

新たな消費行動によって産業の生産が直接的に増加する効果を指す。

ここでは、世界ラリー選手権の観戦やイベントに訪れた際の支出（総消費額）のうち、国内で最終的に生産された財やサービスに対する消費額を指す。

具体的には、ホテルや飲食店等の消費額に加え、チケット代や公式グッズ、スタジアム内外で購入した飲食費、スタジアム等への交通費などのうち、国内で生産された財やサービスに対する消費額を指す。

➤ 第 1 次波及効果

新規需要額に該当する財やサービスを生産するために必要とされる財やサービスの生産活動（例えば材料の生産）を通して、国内の各産業の生産に波及する効果を指す。

国外で最終的に生産された財・サービスであっても、その生産にあたって、国内で生産された財やサービスを使っている場合は、国内の第 1 次波及効果に含まれる。

例えば、公式グッズ等の原材料である化学繊維などの国内での生産額の増加を指す。

➤ 第 2 次波及効果

直接効果及び第 1 次波及効果によって所得を得た雇用者の消費行動が国内の各事業の生産に波及する効果を指す。

例えば、公式グッズ等やその原材料などを生産する雇用者が、その収入により食料品・衣服などを購入することで発生する各産業の生産増加を指す。

2. 経済波及効果計測の詳細

今回の試算にあたっては、ラリージャパン 2025観戦者アンケートから得られた観戦者消費額及びイベント開催に伴う主催者等、参加チームによる消費額により、経済波及効果を推計した。

◇経済波及効果の詳細

表 2 経済波及効果一覧の詳細 (単位：百万円)

	総消費額	直接効果	第1次波及効果	第2次波及効果	総合効果
観戦者	4,258	3,704	2,603	1,609	7,917
主催者等	2,015	1,900	983	1,009	3,892
参加チーム	724	630	615	271	1,516
合計	6,997	6,234	4,201	2,889	13,325

◇その他の効果

粗付加価値額 72億 8,000万円

雇用者所得誘発額 37億 3,800万円

雇用誘発数 961人

➤ 粗付加価値額

各部門の生産額によって生み出された付加価値であり、雇用者所得や営業余剰などを含む

➤ 雇用者所得誘発額、雇用誘発数

各部門の生産により生み出される雇用者所得と、生産が1年かけて行われると想定した場合に誘発される雇用者数

表 3 その他の効果

	粗付加価値誘発額 (百万円)		雇用誘発数 (人)
		うち雇用者所得誘発額 (百万円)	
観戦者	4,213	2,082	552
主催者	2,404	1,305	316
参加チーム	663	351	93
合計	7,280	3,738	961

III. アンケート調査結果

1. 調査結果一覧

問 1 ① 性別

「男性」が 69.4%、「女性」が 29.8%となっている。

調査場所別にみると、豊田市 SSSで男性の割合が高くなっている。

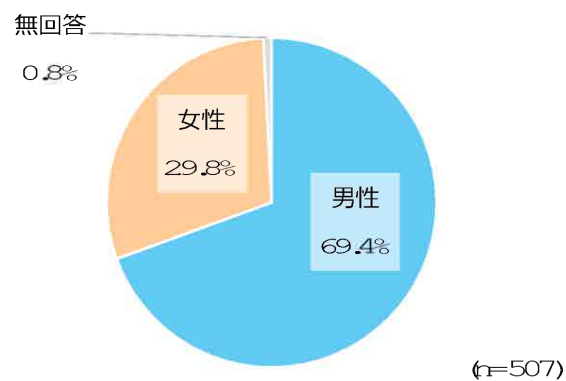


図 1 性別

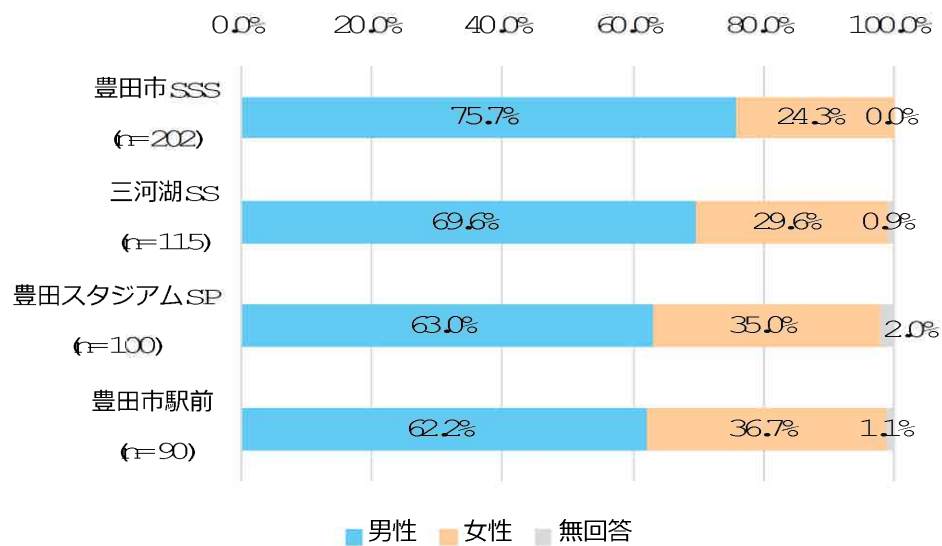


図 2 調査場所別の性別

問 1 ② 年代

「50代」が 29.0%と最も多く、次いで「40代」が 19.1%、「30代」が 15.8%となっている。「50代」・「40代」・「30代」で全体の 63.9%を占める。

調査場所別にみると、豊田市 SSSや三河湖 SSは 50代以上の割合が高い。豊田スタジアム SPや豊田市駅前はこちらはこども連れの家族が多く、「30代」と「40代」を合わせた割合が高い。

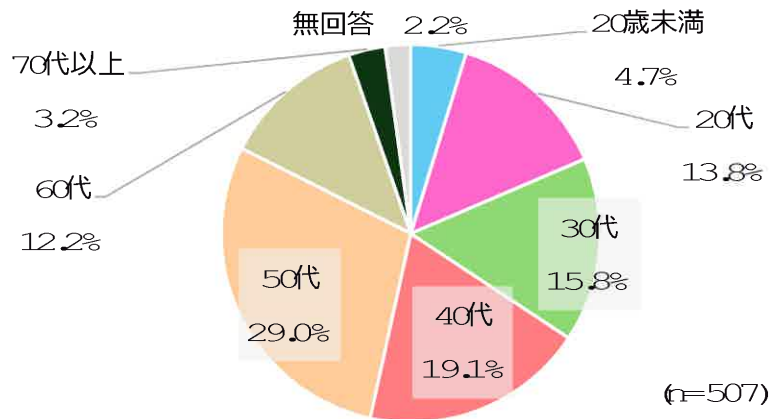


図 3 年代

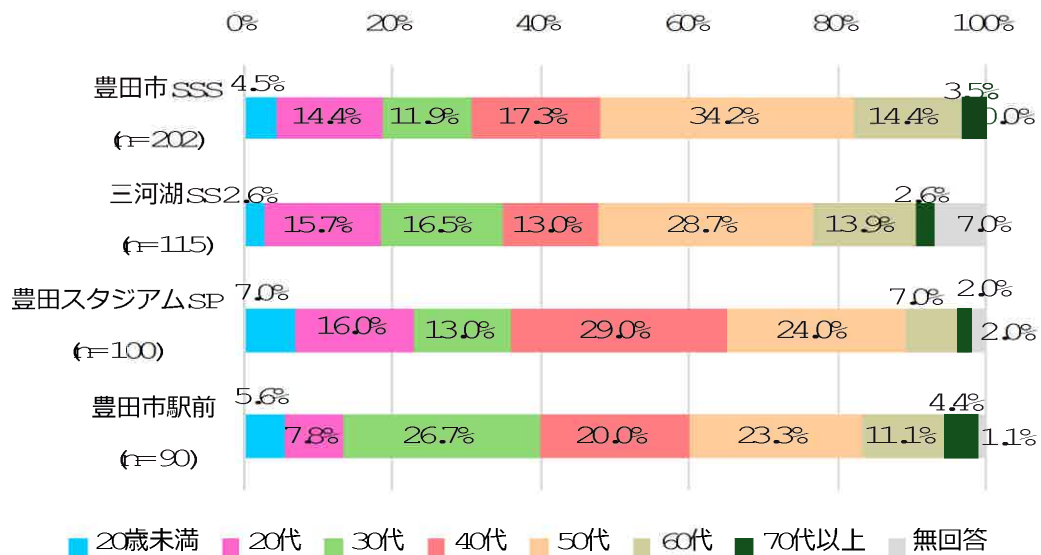


図 4 調査場所別年代

問2① 来場人数

「2人」が47.5%と最も多く、次いで「1人」が25.4%となっている。平均来場人数は2.2人となっている。

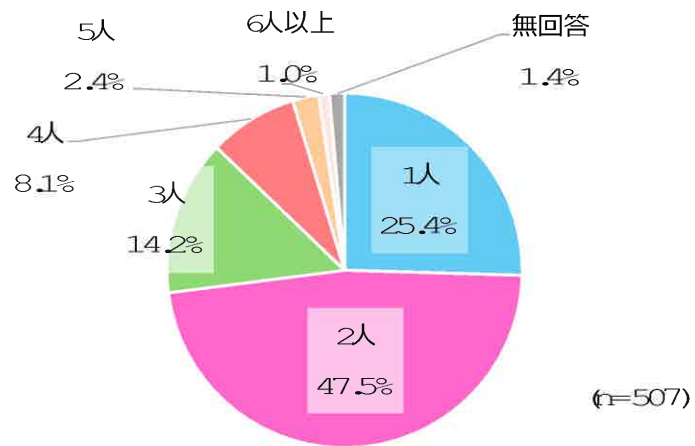


図 5 来場人数

問 2 ② 一緒に来た人(複数回答可)

「その他家族」が 26.4%と最も多く、次いで「友人・知人」が 25.6%、「配偶者」が 17.8%となっている。

調査場所別にみると、豊田市 SSS や三河湖 SS では「その他家族」や「友人・知人」の割合が高い。豊田スタジアム SP や豊田市駅前では「小学生以下の子ども」の割合が他の調査場所と比較して高い。

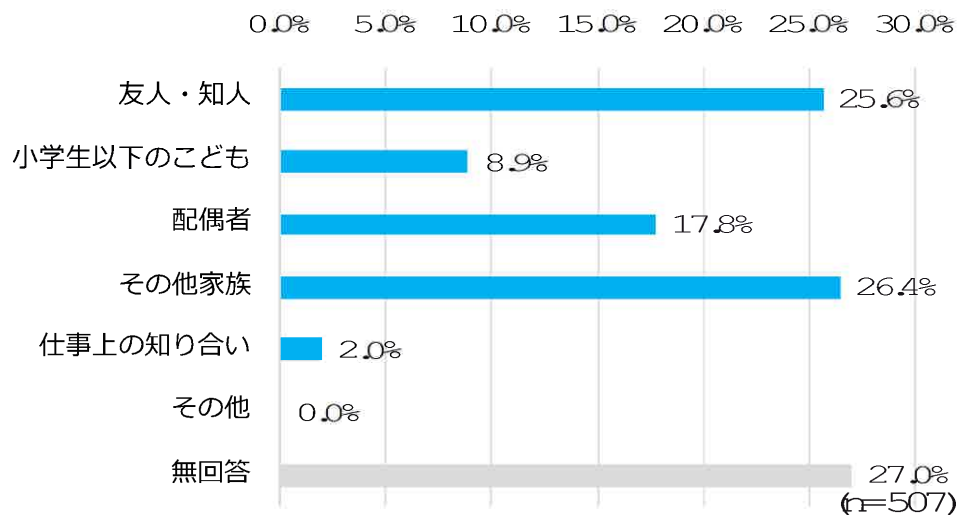


図 6 一緒に来た人

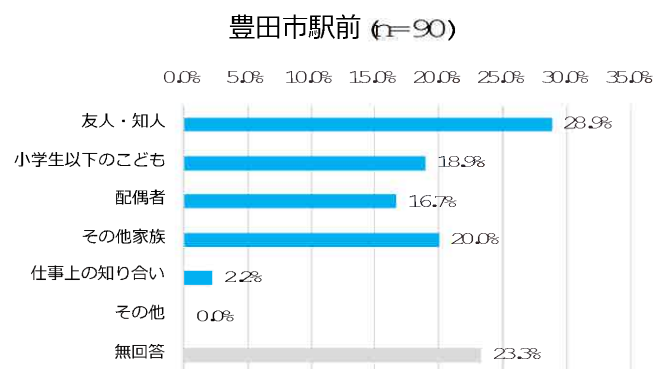
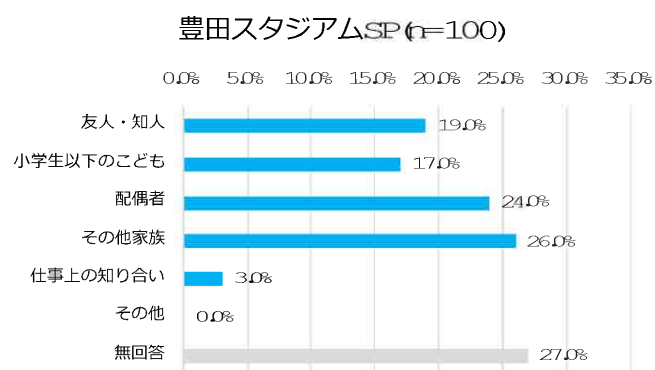
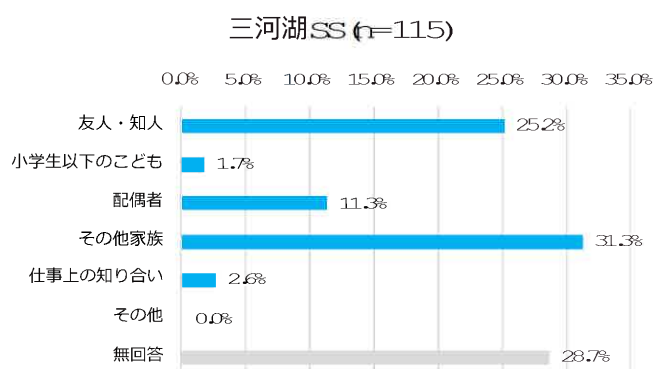
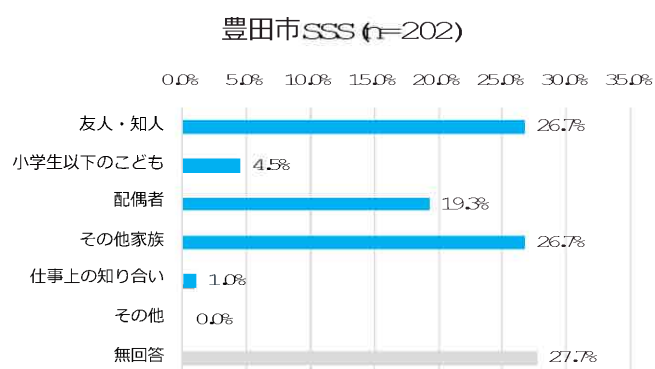


図 7 調査場所別 一緒に来た人

問 2 ③ 居住地

「愛知県内」が 61.9%、「愛知県外」が 36.7%で「愛知県内」の方が多くなっている。

「愛知県内」の市町村別居住地は、「豊田市」が全体の 31.4%と最も多く、次いで「名古屋市」が全体の 7.9%となっている。

「愛知県外」の都道府県別居住地は、人口の多い「東京都」・「大阪府」や、隣県である「静岡県」・「岐阜県」が多い。

調査場所別にみると、豊田市 SSSや三河湖 SSで「愛知県外」が多い。豊田スタジアム SPでは「豊田市内」が多く、豊田市駅前では「豊田市を除く愛知県内」が最も多いものの、豊田スタジアム SPと豊田市駅前においては、愛知県内からの来場者がいずれも 75%以上を占めている。

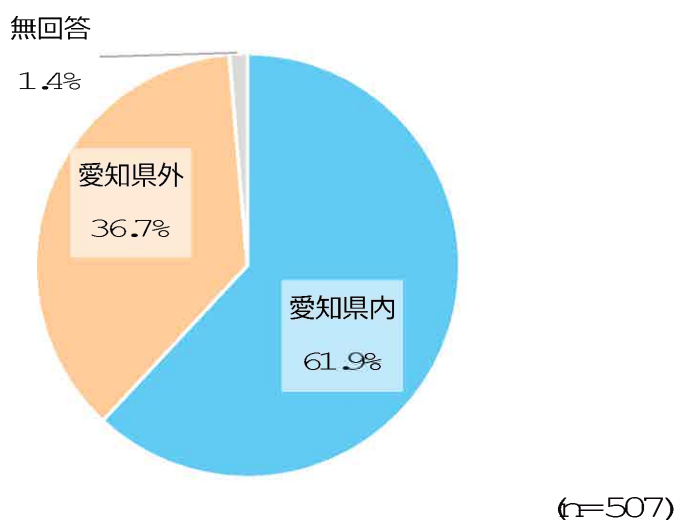


図 8 居住地

表 4 愛知県内 の市町村別居住地

市町村	回答数	「愛知県内」に占める割合 (%)	全体に占める割合 (%)
豊田市	159	50.6%	31.4%
名古屋市	40	12.7%	7.9%
岡崎市	13	4.1%	2.6%
みよし市	7	2.2%	1.4%
一宮市	7	2.2%	1.4%
安城市	6	1.9%	1.2%
刈谷市	6	1.9%	1.2%
西尾市	5	1.6%	1.0%
知立市	5	1.6%	1.0%

市町村	回答数	「愛知県内」に 占める割合（％）	全体に占める割合 （％）
瀬戸市	5	1.6%	1.0%
春日井市	5	1.6%	1.0%
日進市	5	1.6%	1.0%
その他	40	12.7%	7.9%

表 5 「愛知県外」の都道府県別居住地

都道府県	回答数	「愛知県外」に 占める割合（％）
東京都	19	10.2%
大阪府	18	9.7%
静岡県	18	9.7%
岐阜県	17	9.1%
埼玉県	15	8.1%
神奈川県	13	7.0%
兵庫県	9	4.8%
千葉県	8	4.3%
三重県	7	3.8%
長野県	7	3.8%
福岡県	7	3.8%
奈良県	5	2.7%
茨城県	5	2.7%
その他	27	14.5%

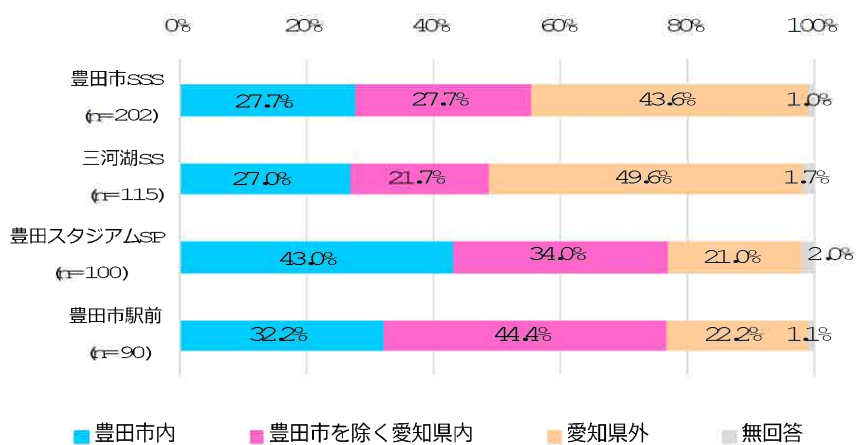


図 9 調査場所別の居住地

問 3 ラリージャパンへの来訪回数

「3回目以上」が49.5%と最も多く、次いで「初めて」が27.0%となっている。

居住地別にみると、「豊田市内」「豊田市を除く愛知県内」在住者はあまり回答に差がない。対して、「愛知県外」は、「初めて」と「2回目」という回答が「豊田市内」及び「豊田市を除く愛知県内」よりも割合が高くなっている。

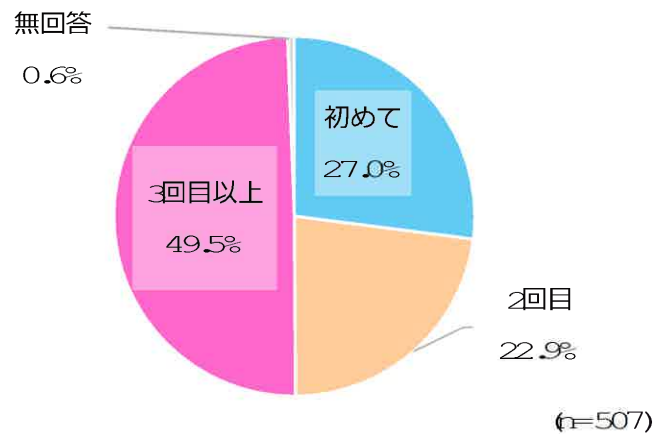


図 10 ラリージャパンへの来訪回数

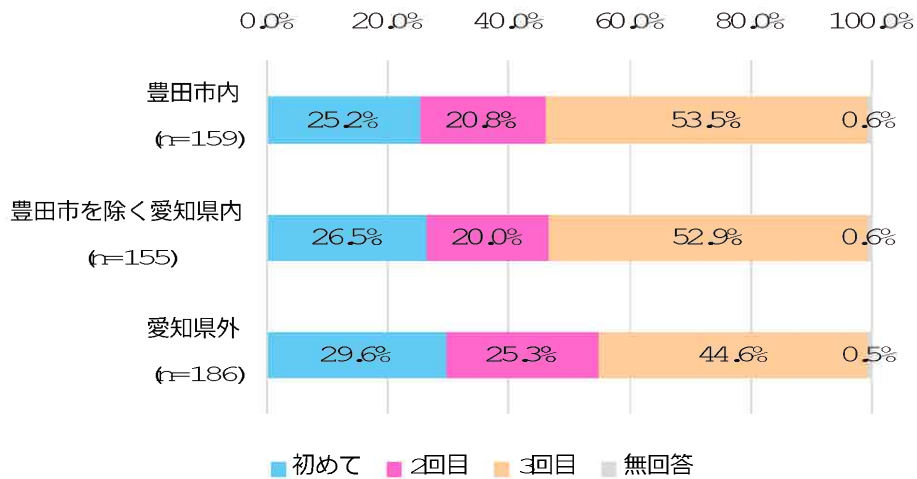


図 11 ラリージャパンへの来訪回数

問 4 ① 宿泊の有無と宿泊数

「日帰り」が 70.4%、「宿泊」が 28.0%となっている。宿泊数は「1泊」が 49.3%と最も多く、次いで「2泊」で 23.2%、「3泊」で 14.1%となっている。平均宿泊数は 2.0泊となっている。

居住地別の宿泊の有無は、「豊田市内」「豊田市を除く愛知県内」で宿泊があったのはほとんどないものの、「愛知県外」では 71.5%となっている。

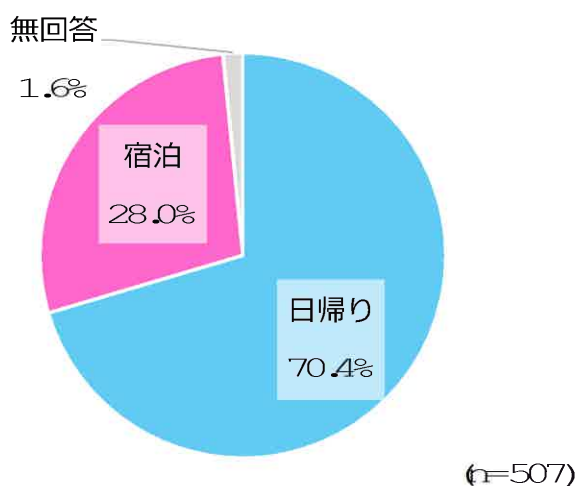


図 12 宿泊の有無

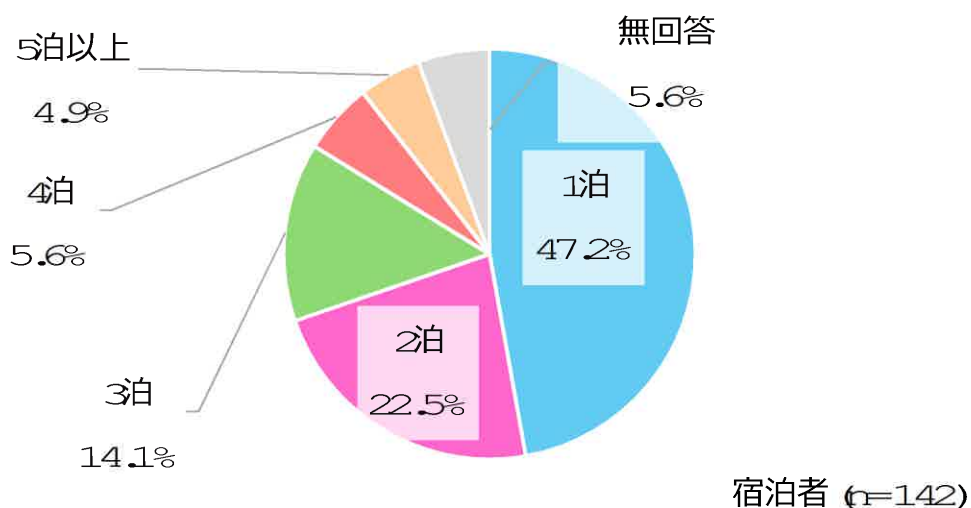


図 13 宿泊数

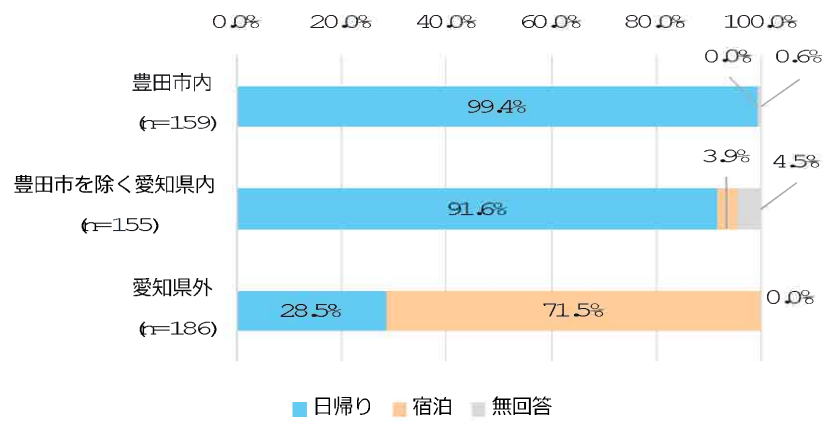


図 14 居住地別宿泊の有無

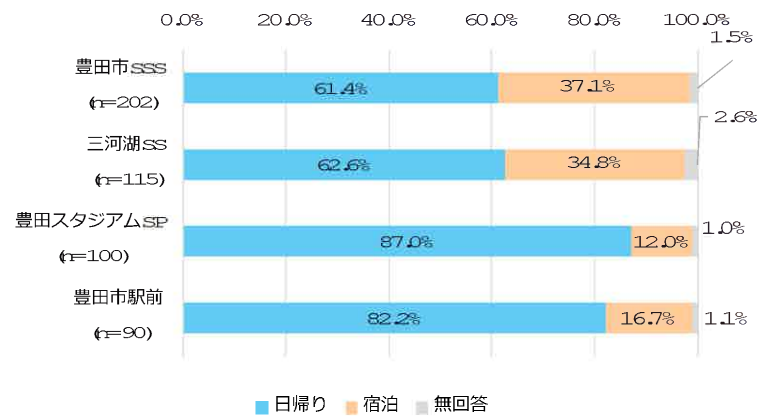


図 15 調査場所別の宿泊有無

【問4①で「宿泊」と答えた人のみ】

問4② 宿泊場所

「豊田市・名古屋市を除く愛知県内」が50.0%と最も多く、次いで「豊田市」が19.0%、「名古屋市」が15.5%となっている。「豊田市」における具体的な場所として、車中泊、豊田プレステージホテル、東横インなどの回答があった。

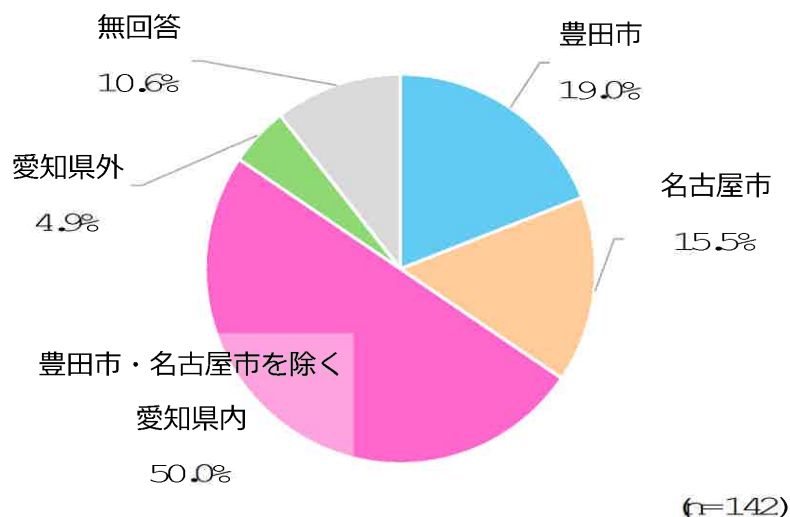


図 16 宿泊場所

【豊田市 SSS、三河湖 SS のみ】

問 5 サービスパークに行ったかどうか（予定も含む）

「行った（行く予定である）」が 74.4%と最も多く、「行っていない（行く予定はない）」が 21.8%となっている。

調査場所別にみると、豊田市 SSSではサービスパークへ「行った（行く予定である）」が 95.0%であるのに対し、三河湖 SSでは「行っていない（行く予定はない）」が 52.2%となっている。

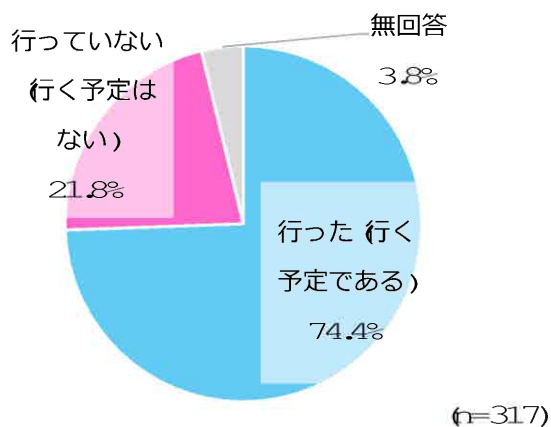


図 17 サービスパークへ行ったかどうか（予定も含む）

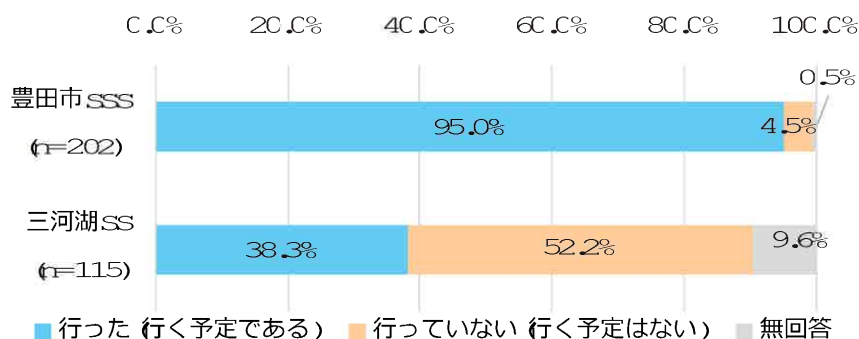


図 18 調査場所別 サービスパークへ行ったかどうか（予定も含む）

【豊田市 SSS、三河湖 SS、豊田スタジアム SP のみ】

問 5 サービスパークの魅力

「車両整備の見学」が 53.0%と最も多く、次いで「選手に会える」が 31.9%、「公式グッズの販売」及び「ラリーカーを一度に見ることができる」が 22.3%となっている。

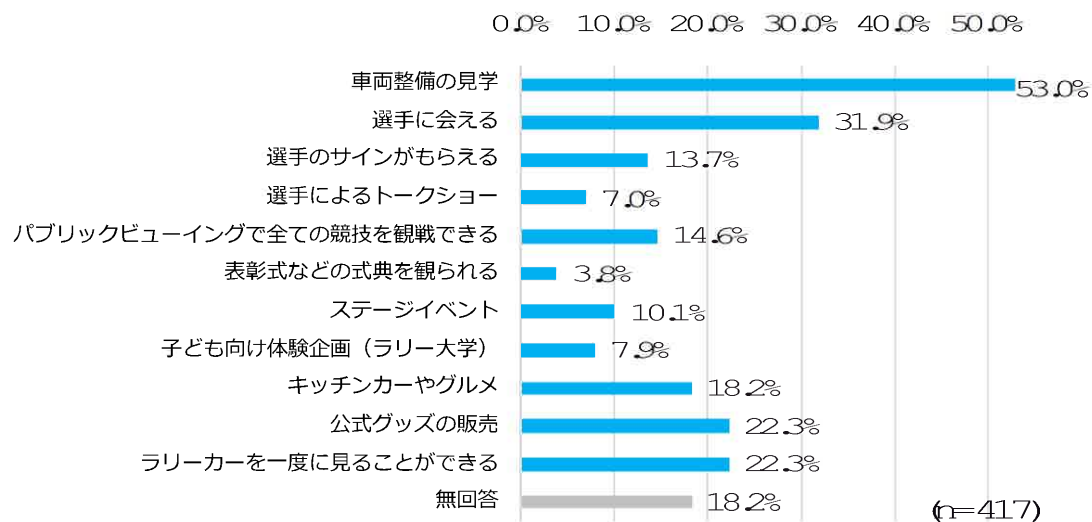


図 19 サービスパークの魅力

問 6 ① 観戦する場所（予定も含む）（複数回答可）

「有料チケットを購入し観戦」が 82.8%と最も多く、次いで「パブリックビューイングで観戦」が 38.9%となっている。

調査場所別にみると、豊田市 SSSは三河湖 SSよりも「パブリックビューイングで観戦」が高くなっている。豊田スタジアム SPは「パブリックビューイングで観戦」が他の調査場所よりも高い。豊田市駅前は「リエゾン区間（コース間の一般公道）で無料観戦」が他の調査場所よりも高く、また、他の調査場所では「観戦しない」と回答した人がいなかったのに対し、豊田市駅前では 5.6%となっている。

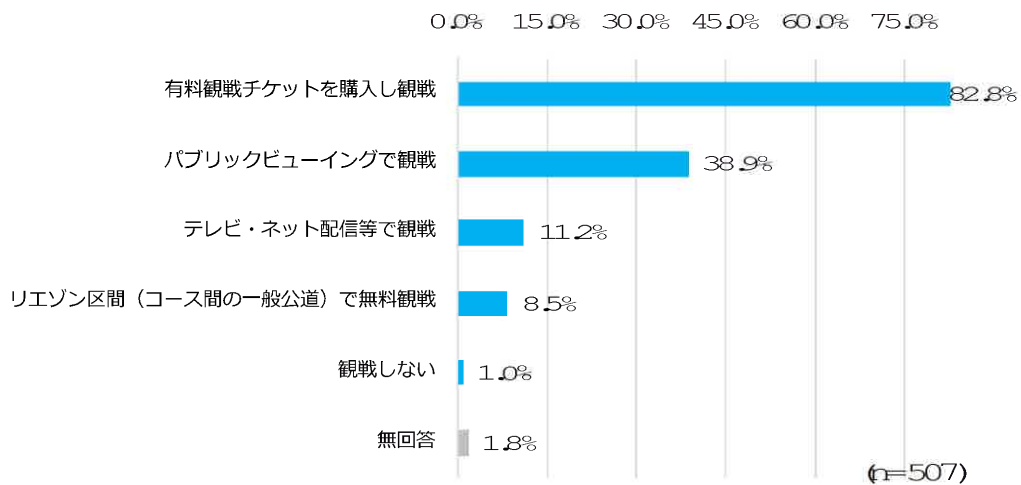


図 20 観戦予定

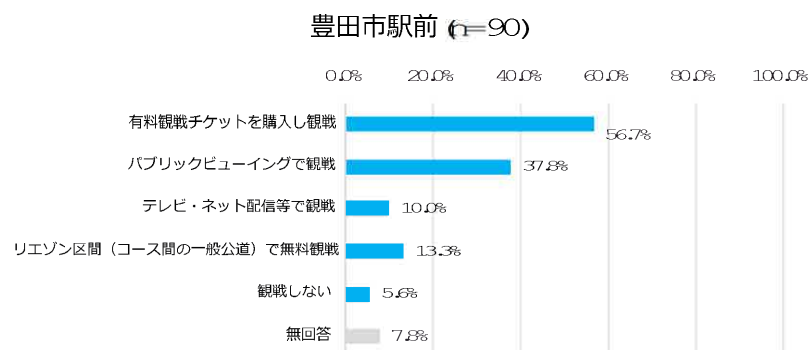
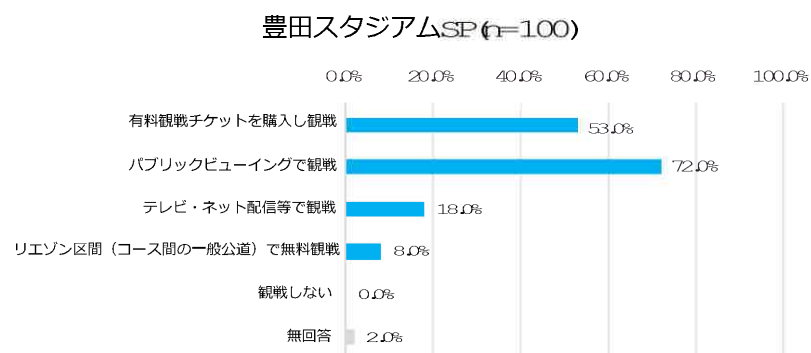
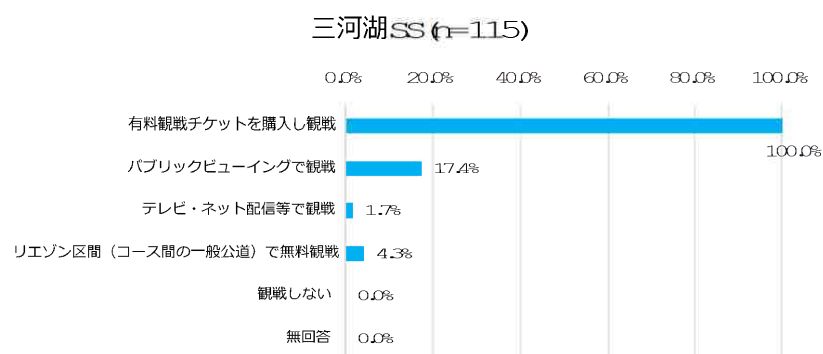
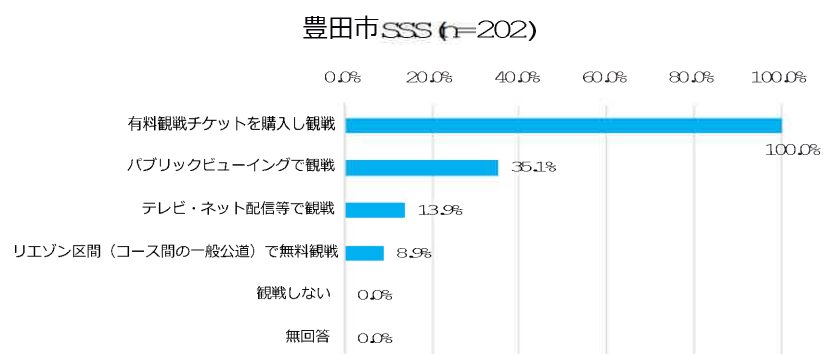


図 21 調査場所別 観戦する場所（予定も含む）

【問 6 ①で「有料チケットを購入し観戦」と答えた人のみ】

問 6 ② 有料観戦する場所（予定含む）（複数回答可）

「豊田市 SSS」が 77.2%と最も多く、次いで「三河湖 SS」が 29.0%となっている。

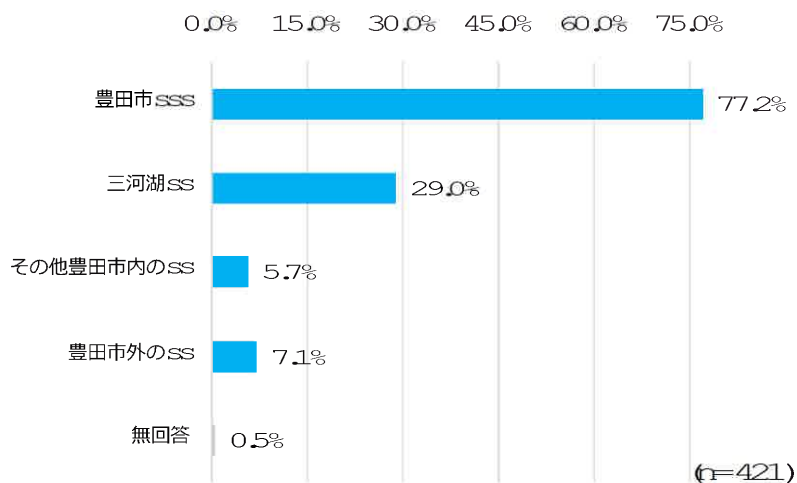


図 22 有料観戦する場所（予定含む）

【問 6 ①で「パブリックビューイングで観戦」と答えた人のみ】

問 6 ③ パブリックビューイングで観戦する場所（予定含む）（複数回答可）

「豊田スタジアム SP」が 83.8%と最も多く、次いで「豊田市駅前」が 18.8%となっている。

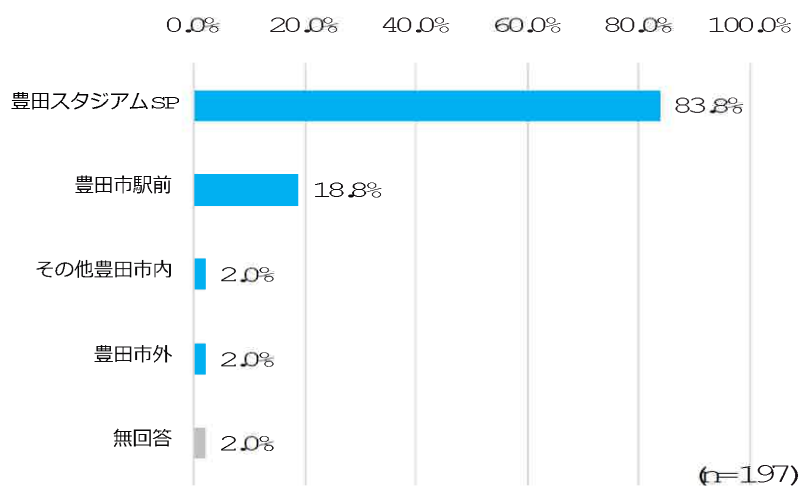


図 23 パブリックビューイングで観戦する場所（予定含む）

【豊田スタジアム SP、豊田市駅前のみ】

問 7 ① 次回の世界ラリー選手権の有料観戦チケットを購入することへの考え

「購入したい」が 14.7%と最も多く、次いで「金額による」が 14.2%、「購入しようと思わない」が 11.1%となっている。

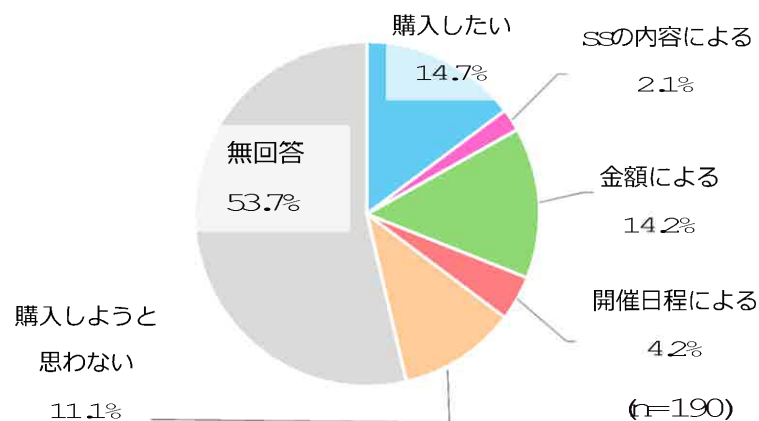


図 24 次回の世界ラリー選手権で
有料観戦チケットを購入することへの考え

【豊田スタジアム SP、豊田市駅前のみ】

問 7 ② 次回の世界ラリー選手権で来訪したい場所（複数回答可）

「有料チケットを購入し観戦」が 63.2%と最も多く、次いで「サービスパーク」が 40.0%、「パブリックビューイング」が 24.2%となっている。

調査場所別にみると、豊田スタジアム SPと豊田市駅前では、ともに「有料チケットを購入し観戦」が最も高く、豊田スタジアム SPでは「サービスパーク」と「パブリックビューイング」が豊田市駅前よりも多くなっている。

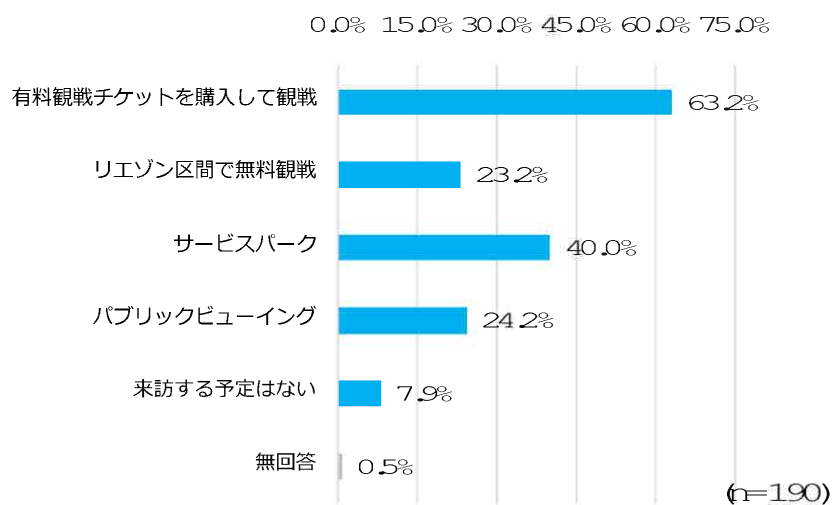


図 25 次回の世界ラリー選手権で来訪したい場所

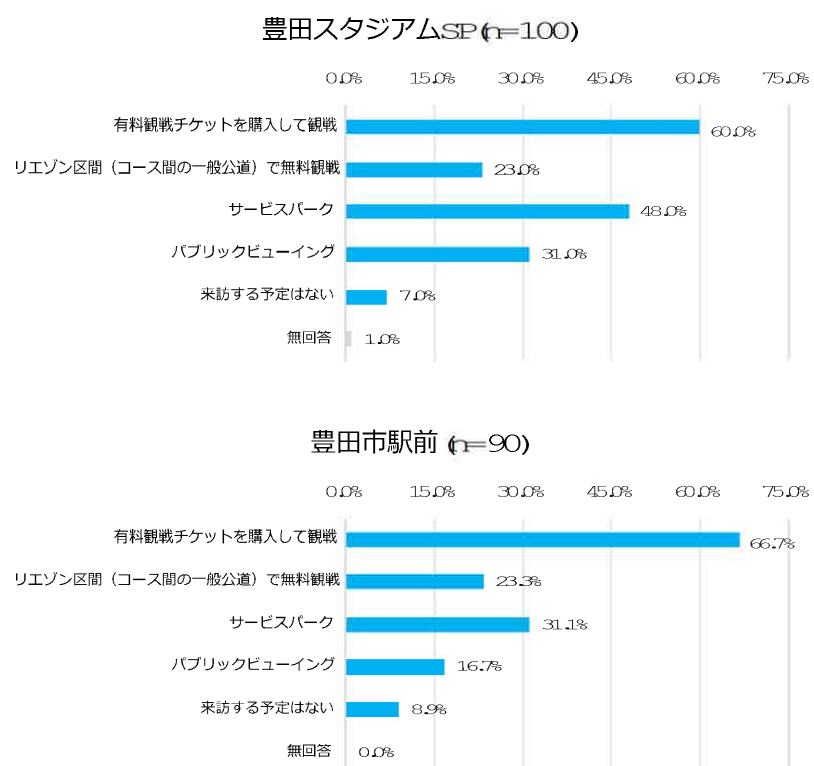


図 26 調査場所別 次回の世界ラリー選手権で来訪したい場所

【豊田スタジアム SP、豊田市駅前のみ】

問 8 魅力的だと思う観戦エリアやコース（複数回答可）

「観戦エリアの設備が整っている」が 39.5%と最も多く、次いで「駅からのアクセスがいい」が 37.9%、「コースにカーブやジャンプなどがあり、競技の迫力を感じられる」が 31.1%となっている。

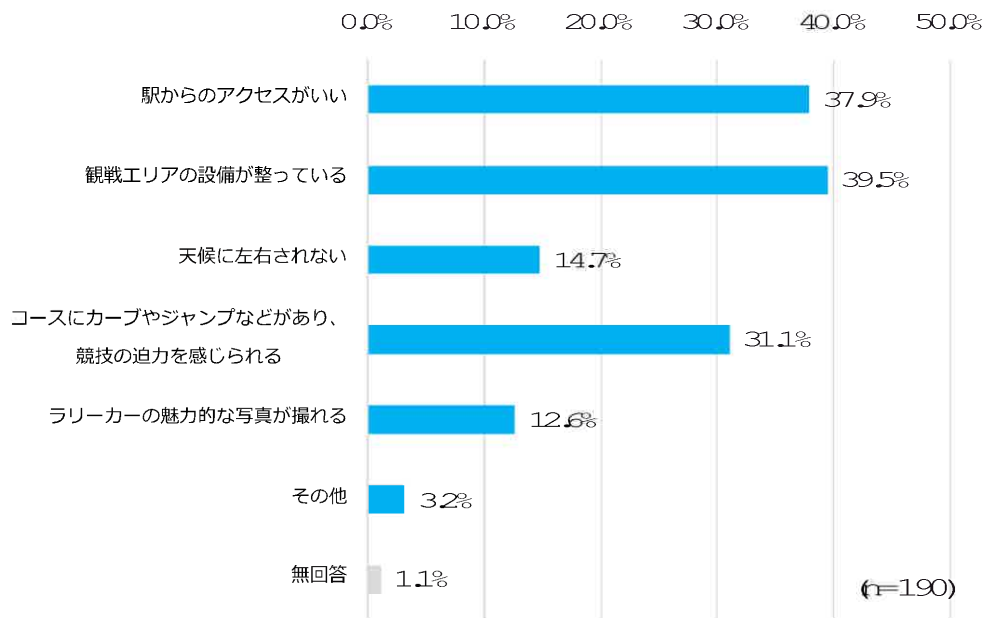


図 27 次回の世界ラリー選手権で来訪したい場所

問 8 世界ラリー選手権が豊田市で開催されることの効果（複数回答可）

「モータースポーツ振興/クルマへの興味関心の醸成」が 64.1%と最も多く、次いで「地域経済の活性化」が 53.1%、「豊田市の知名度向上」が 24.7%となっている。

居住地別にみると、「豊田市内」において、「豊田市の知名度向上」が他の地域よりも高く、「愛知県外」において「モータースポーツ振興/クルマへの興味関心の醸成」が他の地域よりも高くなっている。

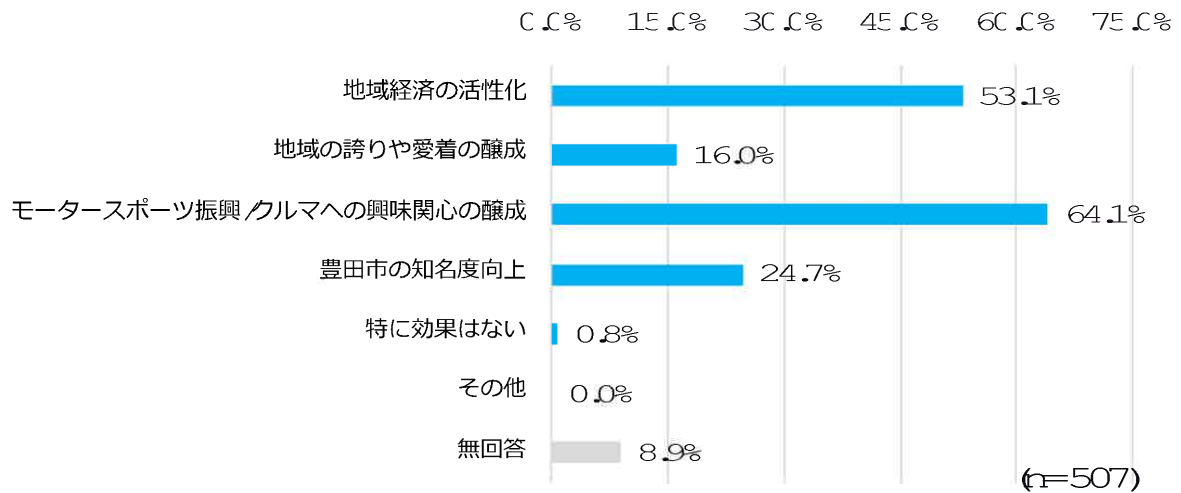
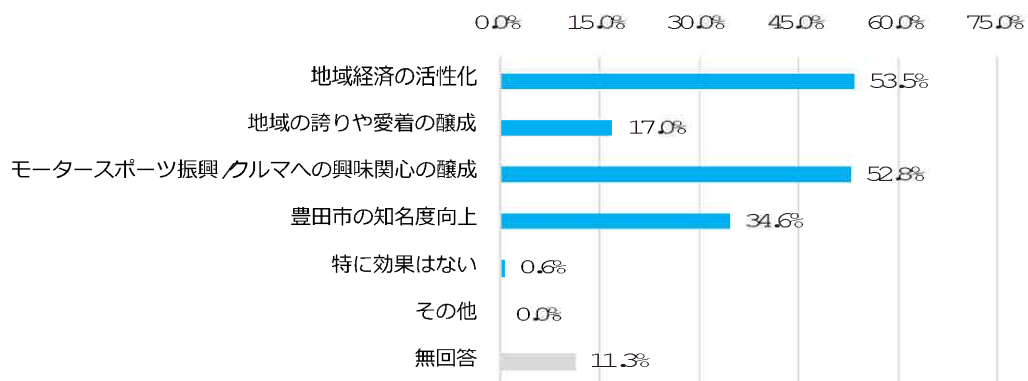
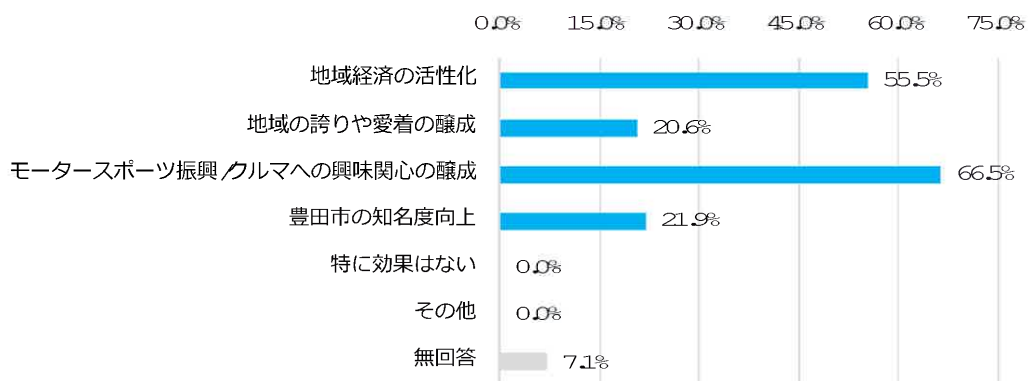


図 28 世界ラリー選手権が豊田市で開催されることによる効果

豊田市内 (n=159)



豊田市を除く愛知県内 (n=155)



愛知県外 (n=186)

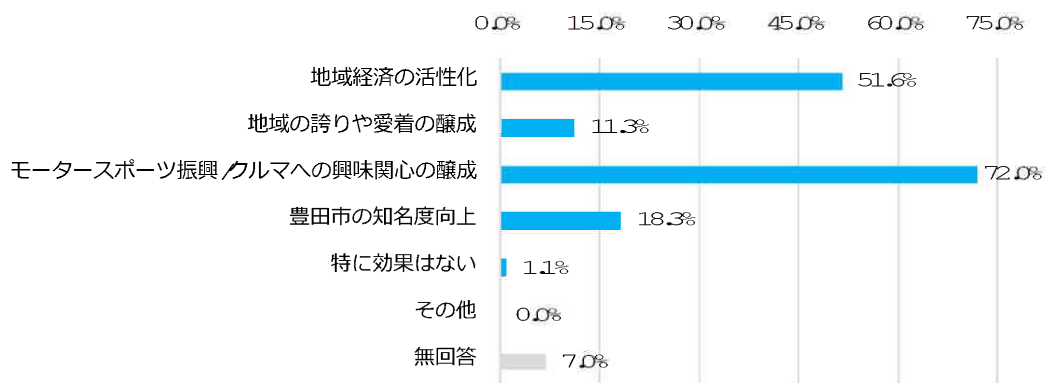


図 29 居住地別 世界ラリー選手権が豊田市で開催されることによる効果

問 9 ラリー観戦全行程での一人あたり平均使用金額（予定も含む）

平均使用金額は、22,060円となっている。費目別にみると、飛行機代が 50,833円と最も高く、次いで宿泊費が 22,618円、次いで新幹線代が 21,687円となっている。

居住地別にみると、「愛知県外」全行程の使用金額が最も高く、費目別にみると、飛行機代、新幹線代、宿泊費、レンタカー代などが高い。「豊田市を除く愛知県内」の全行程の使用金額は「豊田市内」よりも高く、特に鉄道代が「豊田市内」の約 2.7倍となっている。

宿泊の有無別にみると、宿泊した来場者の使用金額は日帰りの場合の約 6.2倍で、費目別にみると飛行機代、新幹線代、宿泊費、レンタカー代など高い。

表 6 費目別全行程での一人あたりの平均使用金額

費目		人数 (人)	平均使用金額 (円)
クルマ利用	レンタカー代	18	12,056
	ガソリン代	415	3,859
	駐車場代	308	1,791
	高速代	265	5,724
クルマ以外の交通手段	飛行機代	18	50,833
	鉄道代	283	2,331
	新幹線代	68	21,687
	バス代	73	4,550
宿泊費	宿泊費	221	22,618
飲食費	飲み物代	610	1,763
	食べ物代	757	3,255
	店舗での飲食費	370	5,295
お土産・グッズ購入	土産代 繊維製品	446	8,857
	土産代 工業製品	304	4,983
	土産代 食料品	181	4,108
他観光サービスの利用	他施設の入場料	26	3,469
	その他	15	4,400

※使用金額は各費目で支出のあった人の平均値であり、アンケート回答者全体の平均値ではない

表 7 居住地別全行程での一人あたり平均使用金額

単位：円

	全体	豊田市	豊田市を除く 愛知県内	愛知県外
使用金額	22,060	8,331	10,413	42,158

表 8 居住地別費目別全行程での一人あたりの平均使用金額

費目		豊田市		豊田市を除く愛知県内		愛知県外	
		人数 (人)	平均使用金額 (円)	人数 (人)	平均使用金額 (円)	人数 (人)	平均使用金額 (円)
クルマ利用	レンタカー代					18	12,056
	ガソリン代	68	1,196	116	1,427	224	5,906
	駐車場代	48	929	109	1,370	147	2,397
	高速代	8	3,475	50	1,940	207	6,725
クルマ以外の交通手段	飛行機代					18	50,833
	鉄道代	57	550	148	1,476	78	5,254
	新幹線代					62	21,850
	バス代	27	1,134			46	6,554
宿泊費	宿泊費			12	15,833	207	23,075
飲食費	飲み物代	161	977	175	1,275	261	2,572
	食べ物代	233	2,069	232	3,006	283	4,416
	店舗での飲食費	79	2,730	100	2,822	185	7,737
お土産・グッズ購入	土産代 繊維製品	117	8,522	139	7,566	180	10,379
	土産代 工業製品	86	5,867	70	4,228	148	4,828
	土産代 食料品	31	3,030	36	2,250	112	5,023
他観光サービスの利用	他施設の入場料	3	10,667	4	4,000	19	2,221
	その他	11	2,364			4	10,000

※使用金額は各費目で支出のあった人の平均値であり、アンケート回答者全体の平均値ではない

表 9 宿泊の有無別全行程での一人あたり平均使用金額

単位：円

	全体	日帰り	宿泊
使用金額	22,060	9,390	58,297

表 10 宿泊の有無別費目別全行程での一人あたりの平均使用金額

費目		日帰り		宿泊	
		人数 (人)	平均使用金額 (円)	人数 (人)	平均使用金額 (円)
クルマ利用	レンタカー代			18	12,056
	ガソリン代	238	1,659	168	7,132
	駐車場代	200	1,303	102	2,840
	高速代	106	2,536	155	8,050
クルマ以外の交通手段	飛行機代			18	50,833
	鉄道代	220	1,421	53	6,217
	新幹線代	13	20,169	55	22,045
	バス代	67	4,039	6	10,250
宿泊費	宿泊費			221	22,618
飲食費	飲み物代	392	1,092	210	3,064
	食べ物代	515	2,087	223	6,044
	店舗での飲食費	238	2,874	126	10,050
お土産・グッズ購入	土産代 繊維製品	281	8,127	156	10,150
	土産代 工業製品	205	4,314	93	6,717
	土産代 食料品	85	2,565	94	5,579
他観光サービスの利用	他施設の入場料	9	5,556	17	2,365
	その他	11	2,364	4	10,000

※使用金額は各費目で支出のあった人の平均値であり、アンケート回答者全体の平均値ではない

問 10 ラリー観戦の満足度(5点満点)

「ラリー観戦」(パブリックビューイングを含む)が4.33と最も高く、次いで「イベント全体」が4.30、「会場コンテンツ」が4.22となっている。なお、満足度得点は5点満点で、「満足」という回答を5点、「まあ満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、「分からない」は除いて平均を算出した。また、「グッズの購入・充実度」「飲食店の充実度」「チケット価格」に関する満足度については、豊田市駅前では調査していない。

満足度の割合については「満足」・「まあ満足」の割合が「チケット価格」で53.9%と最も低く、次いで「グッズの購入・充実度」で61.7%、「飲食店の充実度」で68.9%となっている。

調査場所別にみると、豊田市 SSSでは「ラリー観戦」の満足度得点が4.50と他の調査場所よりも高いほか、「グッズの購入・充実度」・「飲食店の充実度」・「イベント全体」は調査場所の中で2番目に満足度が高い。「イベント全体」における満足度の割合は、「満足」・「まあ満足」を合わせると87.1%と他の調査場所よりも高い。

三河湖 SSでは全ての項目において満足度得点が他の調査場所よりも低いものの、「ラリー観戦」の満足度は4.17と他の項目より高い。「ラリー観戦」における満足度の割合は、「満足」・「まあ満足」をあわせると91.3%となっている。

豊田スタジアム SPでは「会場コンテンツ」・「グッズの購入・充実度」・「飲食店の充実度」のいずれも他の調査場所よりも満足度得点が高い。「チケット価格」における満足度の割合は、「満足」・「まあ満足」を合わせると59.1%と豊田市 SSSや三河湖 SSよりも高い。

豊田市駅前には、満足度得点がいずれの項目も4を超えており、「イベント全体」の満足度得点が4.48と他の調査場所よりも高い。「満足」・「まあ満足」を合わせた満足度の割合は、いずれの項目も75%を超えている。

居住地別にみると、愛知県外の在住者は愛知県内の在住者よりも満足度得点が高い傾向にある。豊田市内の在住者は市外の在住者と比較して、「チケット価格」における「満足」・「まあ満足」を合わせた満足度の割合が38.4%と最も低く、「やや不満」の割合が高い。

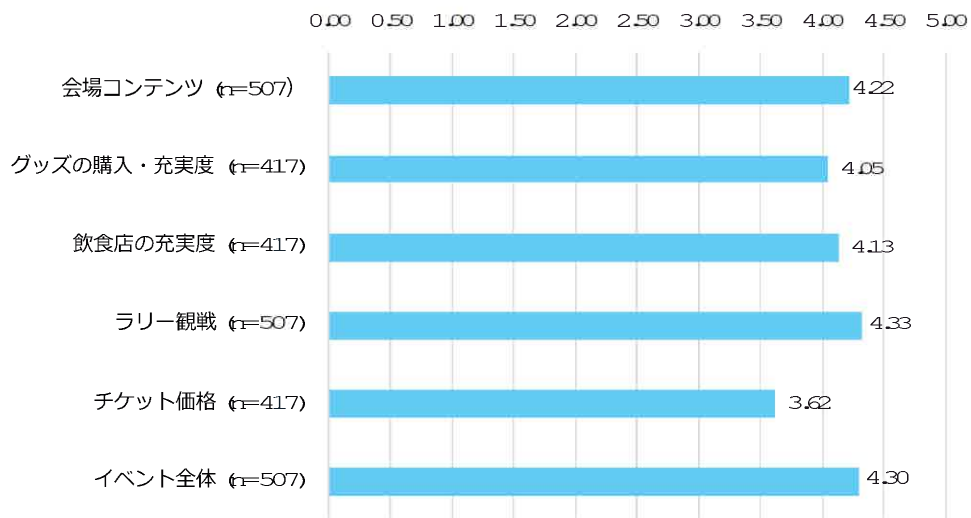


図 30 満足度得点

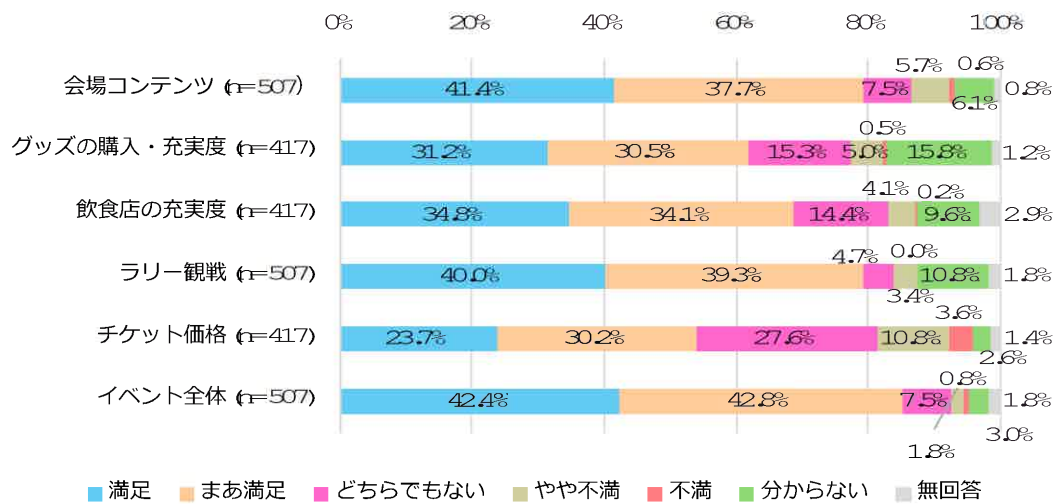


図 31 満足度の割合

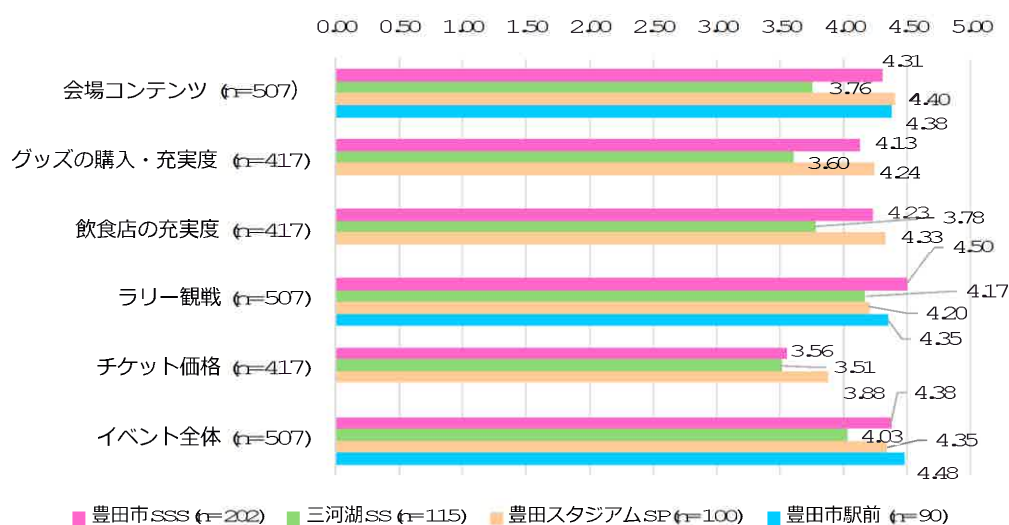


図 32 調査場所別 満足度得点

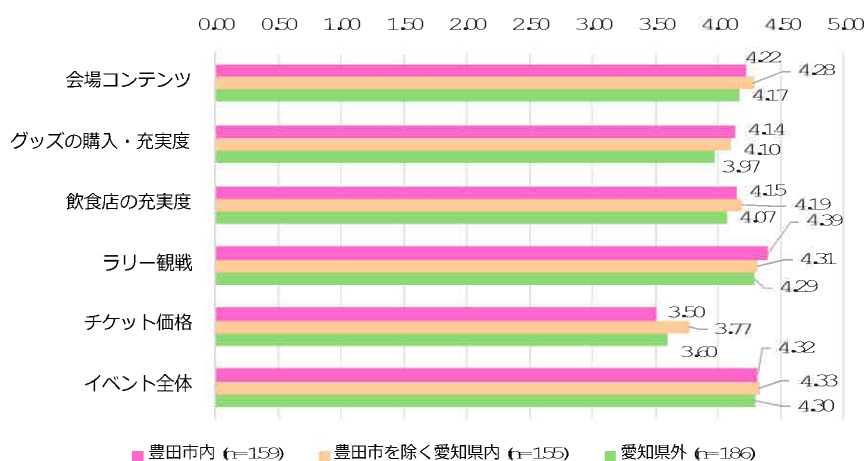


図 33 居住地別 満足度得点

※居住地を回答していない場合もあるため、回答数は全体の数と一致しない

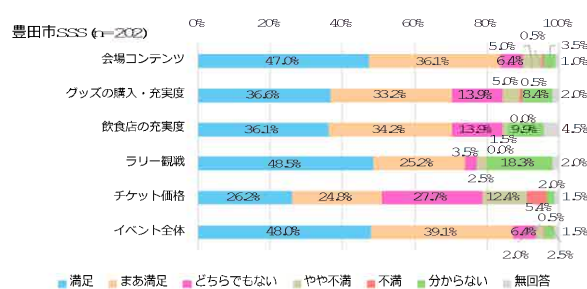


図 34 豊田市 SSS 満足度の割合

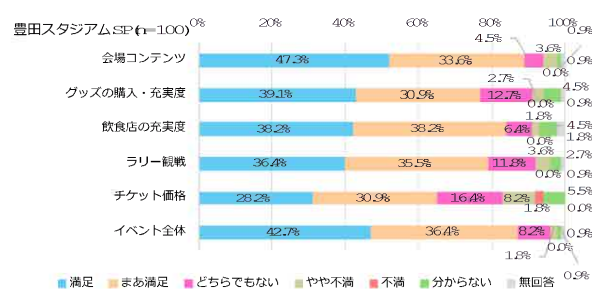


図 36 豊田スタジアム SP 満足度の割合

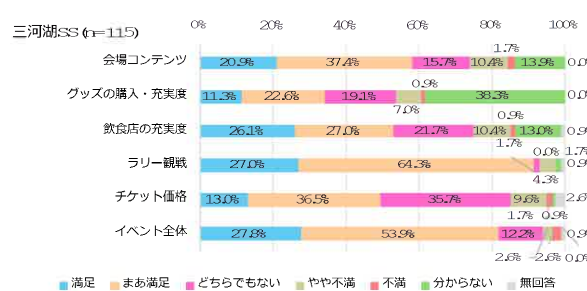


図 35 三河湖 SS 満足度の割合

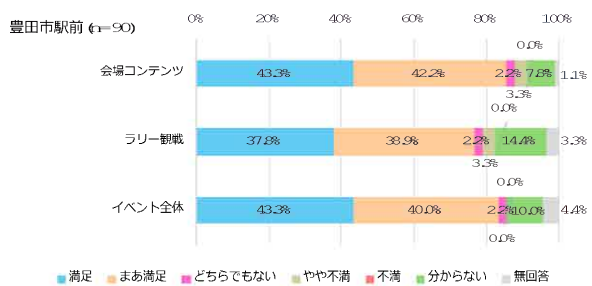


図 37 豊田市駅前 満足度の割合

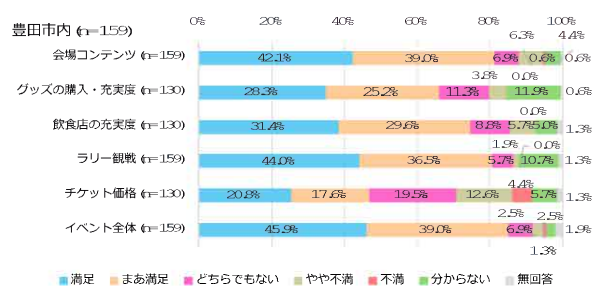


図 38 豊田市内在住者 満足度の割合

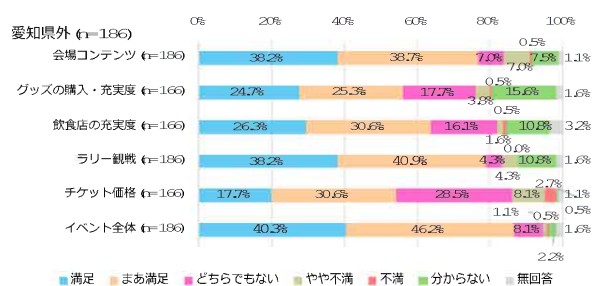


図 40 愛知県外在住者 満足度の割合

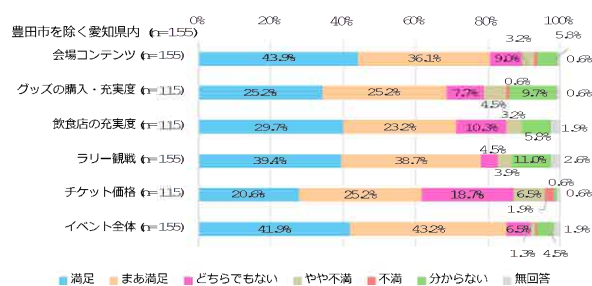


図 39 豊田市を除く愛知県内在住者 満足度の割合

問 11 ラリー観戦に関する意見（自由回答）

265件の回答が得られた。世界ラリー選手権全体の満足度・継続希望に関する意見が44件と最も多く、そのほとんどが「楽しめている」「これからも開催してほしい」などのポジティブな意見となっている。次いで会場のコンテンツに関する意見が22件あり、その中でも、「このようなコンテンツを増やしてほしい」「レースの解説をしてほしい」といったニュートラルな意見が多く、次いで「昨年の方が面白かった」「コンテンツが少ない」などのネガティブな意見が多い。次いで案内不足・分かりづらさに関する意見が20件あり、その中でも「会場の入り口が分かりづらい」「ラリーカーのコースが分かりづらい」などのネガティブな意見が多い。

各項目を調査場所別にみると、豊田市 SSSでは、満足度・継続希望に関する意見が最も多い。次いで、案内不足・分かりづらさや、飲食・売店に関する意見も多く、観戦エリアが複雑であった点や、観戦エリアに売店等がなく、豊田スタジアム SPのキッチンカーまで遠い点などについて意見が挙がっている。

三河湖 SSでは、天候やコンテンツに関する意見が多く、雨除けや屋根付きの休憩所を求める意見や、レース間の待ち時間に楽しめるコンテンツを求める意見などが挙がっている。

豊田スタジアム SPでは、豊田スタジアム内で SSSを観たいといった昨年の豊田スタジアムでの SSS開催に関する意見が最も多い。また、満足度・継続希望に関する意見も多い。

豊田市駅前では、満足度・継続希望に関する意見が他の調査場所と比較して最も多い。

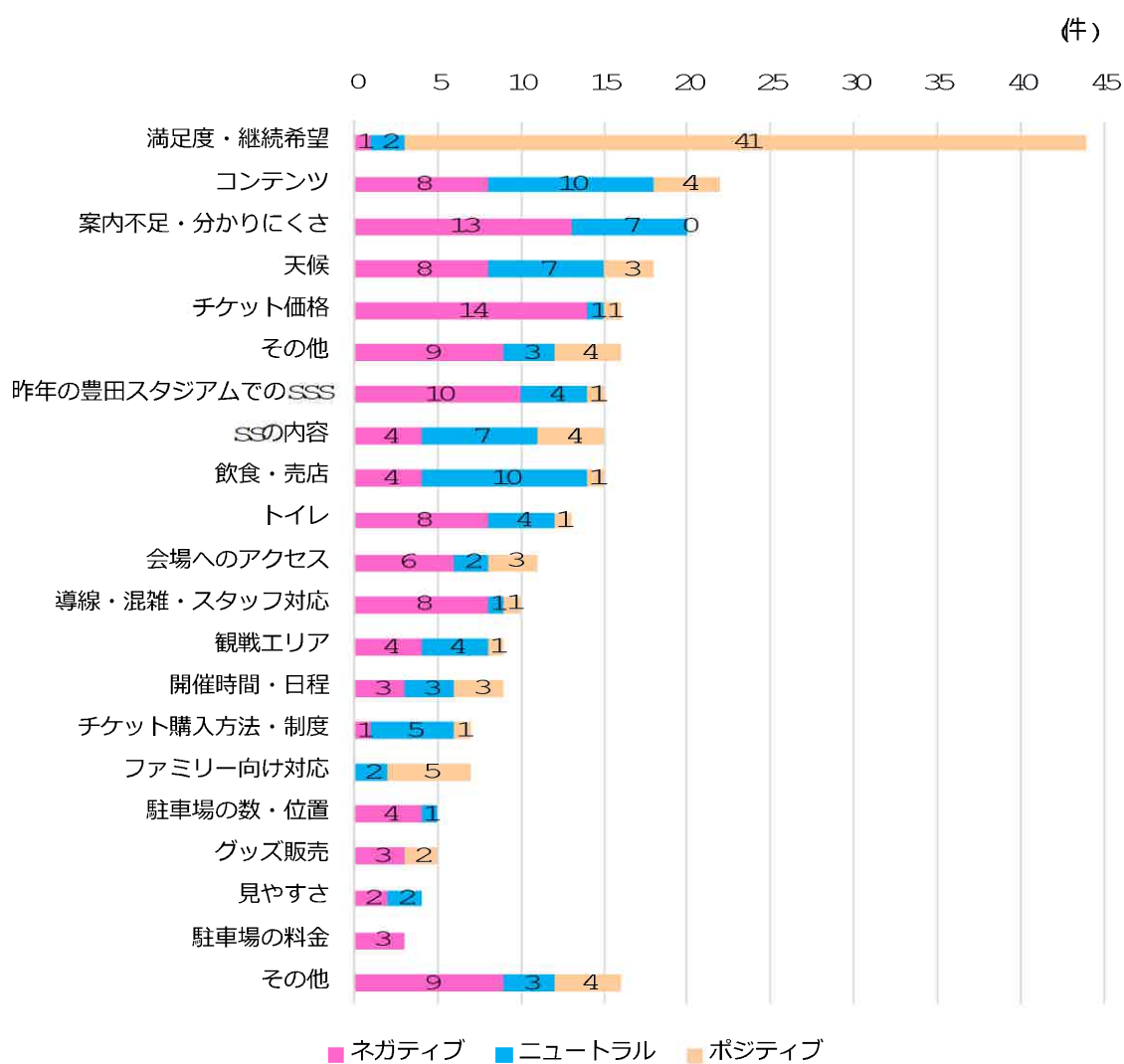


図 41 ネガティブ・ポジティブ別 ラリー観戦に関する意見

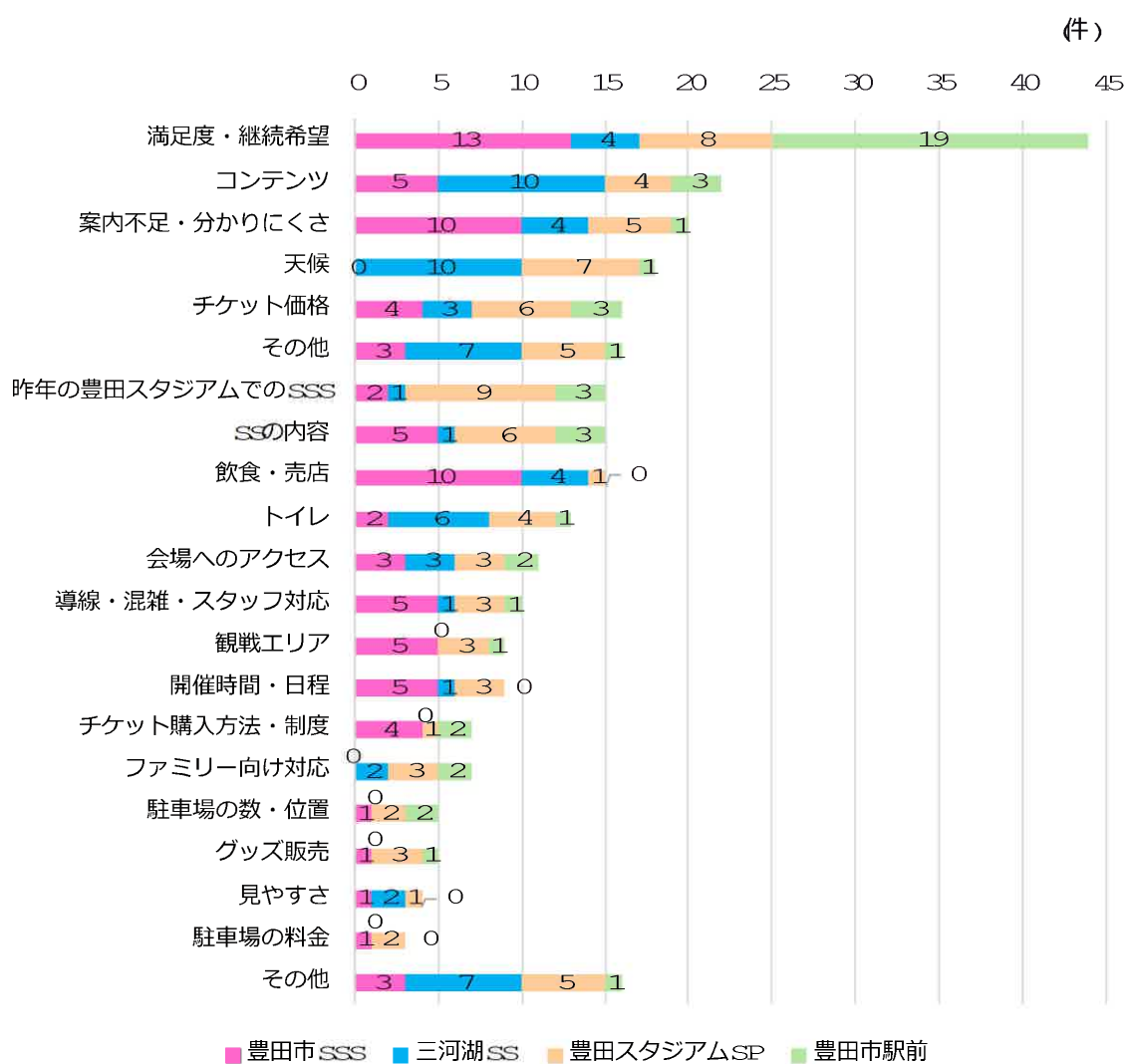


図 42 調査場別 ラリー観戦に関する意見

2. 調査結果からの考察

◇消費額について

費目別の一人あたり消費額は交通費が 6,460円と最も高い。今回の調査では、遠方から訪れる県外在住者も 36.7%を占めたうえ、交通費は市内・県内在住者も支払うものであるため交通費の一人あたり消費額が高くなったと考えられる。

次いで土産・グッズ購入費が 5,519円となっている。中でも、繊維製品の公式グッズは、プルオーバー・Tシャツ・帽子・バッグなどの繊維製品の種類が多く、単価も高かったため、土産・グッズ購入費が高くなったと考えられる。

表 11 一人あたり消費額 (円)

費目		一人あたり消費額 (円)
交通費 (クルマ利用)	レンタカー代	193
	ガソリン代	1,424
	駐車場代	490
	高速代	1,348
交通費 (公共交通利用)	飛行機代	813
	鉄道代	586
	新幹線	1,311
	バス	295
交通費合計		6,460
宿泊費		4,443
飲食費	飲み物代	956
	食べ物代	2,191
	店舗での飲食費	1,742
飲食費合計		4,889
土産・グッズ購入	土産代 繊維製品	3,511
	土産代 工業製品	1,347
	土産代 食料品	661
土産・グッズ購入合計		5,519
他観光サービスの利用	他施設の入場料	80
	その他	59

※1 一人あたり消費額はアンケート回答者全体の平均値であり、各費目で支出のあった人の平均使用額ではない（支出しなかった人も含めた平均値である）。

※2 各費目で支出のあった人の平均使用額は「Ⅲアンケート調査結果 1 調査結果一覧」の表 6に記載している。

◇消費額の拡大について

●愛知県外からの来場者の増加

「愛知県外」からの来場者の平均使用金額は 42,158円であり、豊田市を含む愛知県内在住者の平均使用金額(9,381円)の約 4.5倍となっている。このように、愛知県外からの来場者は宿泊費・交通費などの影響で多くの消費を伴う。

このため、愛知県外からの来場者を増加させることで、さらなる消費額の拡大が期待できる。このため、ラリー観戦を単なる「観戦」ではなく、「豊田市内外への滞在体験」へ昇華させる戦略が求められる。世界ラリー選手権では、旅行代理店などと連携し、宿泊施設と観戦チケットのセット券、ホスピタリティ・プログラム、近隣の観光地のツアーなどが提供されている。このような取組を継続しつつ、ラリーにまつわる体験や近隣の観光地巡りだけでなく、例えば、豊田市内外の豊かな山間部の魅力を体験するツアーや、市内製造業の技術力に触れる工場見学ツアーのパッケージ化などといった、「ここでしか得られない体験」の提供を推進し、一人あたり消費額の向上を図ることが求められる。

宿泊や特別なプログラムに関する取組だけでなく、市内の飲食店・タクシーで利用できるデジタルクーポンの付帯、まち+モビをはじめとする豊田市の多様なモビリティの活用などにより、会場外での周遊消費を促すといった取組も考えられる。

●愛知県内からの来場者の増加

愛知県内からの来場者については、多くは日帰りであるが、愛知県外の来場者よりも豊田市来訪の敷居が低い。このため、ラリーにあまり詳しくないライト層の来訪を促す取組も有効であると考えられ、ラリー関連だけでない会場コンテンツの充実、チケット購入法や会場案内の分かりやすさの改善、ファミリー向けの制度・設備の充実などが求められる。例えば、ラリージャパン 2024で行われたブルーインパルス飛行ショーやアーティストライブといった、ラリーにあまり詳しくなくとも訪れてみたくなるコンテンツの充実、駐車場・観覧席・会場内で使えるクーポン・解説冊子などがセットになった初心者向けチケットの販売、ファミリー優先エリアの設定などが考えられる。

なお、愛知県内及び近隣県からの来場者は自家用車で来訪する場合も多く、駐車場の台数・会場へのアクセス・料金などについて改善を求める意見が挙がっており、駐車場の利便性向上や案内の強化が求められる。

●無料エリアの観客増加

無料エリアの観客は有料エリアの約 62 倍の人数であり、経済波及効果の拡大においては、無料エリアの観客の戦略的な獲得と一人あたり消費額の増加も重要となる。また、無料エリアの観客は、今後の有料エリアの観客増加にもつながる可能性もある。このため、引き続き、豊田市駅前などでのイベントの実施や、名古屋駅・セントレアなどでのラリーカーの展示など、ラリーにあまり詳しくないライト層へ向けた ER 施策を継続する他、リエゾン区間の場所と車両の通過日時を広く分かりやすく発信し、ラリーに関わる敷居を下げる事が求められる。

無料エリアの観客の一人あたり消費額の増加については、現在行われているイベント会場内のスタンプラリーを継続するとともに、数か所において時間差でストリートパフォーマンスを行う、複数のフォトスポットで写真を撮った人へインセンティブを付与するなど、イベント会場で滞在したいと思ってもらう仕掛けづくりが求められる。

●飲食費の増加

会場での飲み物代、食べ物代、店舗での飲食費の一人あたり消費額の合計は 4,889 円であり、宿泊費よりも多くなっている。また、日帰り・宿泊問わず飲食費は発生するため、「飲食店の充実度」の満足度を向上させる工夫によりさらなる消費額の拡大が期待できる。

例えば、三河湖 SS では「飲食店の充実度」に関する満足度得点が低く、飲食店の充実や幅広い価格帯の飲食店を求める意見が挙がっている。また、豊田市 SSS では、キッチンカー等が設置されている豊田スタジアム SP まで移動するのに出入口が限られており、かつ徒歩 10 分程度かかるため、観戦エリアで売店等が欲しいとの意見が挙がっている。このため、今後観戦エリアを設定する際には、駐車スペースの工夫などでキッチンカーの充実を図ることなどにより消費額の拡大が期待できる。

●土産・グッズ購入費の増加

会場での土産・グッズ購入費（繊維製品、工業製品、食品）の一人あたり消費額の合計も 5,519円と宿泊費よりも多く、「グッズの購入・充実度」の満足度を向上させる工夫によりさらなる消費額の拡大が期待できる。

「ここでしか手に入らないグッズ」の展開が求められており、引き続き会場限定グッズの販売や先着のノベルティ頒布を継続するほか、その他には、日付・名前入りのサービスに対応したグッズや、地場産業・名産品とコラボレーションしたオリジナルグッズの展開などが考えられる。

昨年度の調査と同様に、今回の調査においてもグッズの売り切れに関する意見があり、各日の販売数確保、一人あたりの購入数制限、売り切れ商品の後日販売など、多くの人々がグッズを購入できるような工夫が求められる。なお、オンラインショップで事前に購入できたことについて、満足しているとの意見も挙がっており、引き続きオンラインショップにより、ラリー選手権の期間前後に長く販売することは有効であると考えられる。

◇有料観客の獲得について

●満足度向上による有料観客のリピーター獲得

有料観客のリピーター獲得のため、「飲食店の充実度」、「グッズ購入・充実度」以外の観点においても満足度向上を図る必要がある。

「ラリー観戦」の満足度得点はその他の項目と比較して高いが、有料エリアにおける「案内不足・分かりづらさ」について多く意見が挙がり、案内スタッフの増員、会場案内看板の分かりやすさ向上、SNSを利用した案内情報の発信などが考えられる。

「会場コンテンツ（ブース・イベント）」の満足度得点も「ラリー観戦」・「イベント全体」に次いで高いが、さらなる満足度向上に向けて、こどもやモータースポーツに詳しくない人でも誰もが楽しめるコンテンツの充実を図る必要がある。特に三河湖 SSでは、競技間の時間に楽しめるコンテンツが少ないという意見もあり、さらなるコンテンツの充実が期待される。

満足度の向上以外にも、参加し続けるメリットの提供によるリピーター獲得も考えられる。例えば、今大会の有料観客への次回大会の先行販売・アクティビティへの優先予約権などの付与、シリアルナンバー入りの記念グッズや毎年の参加スタンプ帳・パスポートといったコレクション要素の導入などが考えられる。

●新規の有料観客の獲得

新規の有料観客の獲得については、「愛知県内からの来場者の増加」に関して前述したように、ラリーにあまり詳しくないライト層の巻き込みが求められる。

それ以外にも、豊田スタジアム SSSと豊田市駅前での回答では、有料観戦チケットの購入意思について、「購入したい」が 14.7%、「金額による」が 14.2%となっていたため、有料観戦してもらうには、チケット価格が重要であると考えられる。今回の調査において「チケット価格」の満足度得点は他の項目と比較して低く、新規の有料観客の獲得のためには、適切なチケット価格の設定、「チケット価格」への納得感を得られるようなコンテンツの充実、セット券の販売などの取組が求められる。

●観客が求める観戦エリア・コースの設定

豊田市 SSSについて、夜に開催したことに関する意見や、昨年行われた豊田スタジアムでの SSSと比較した意見などが挙がった。

また、「魅力的だと思う観戦エリア・コース」について、「観戦エリアの設備が整っている」「駅からのアクセスがいい」「コースにカーブやジャンプなどがあり、競技の迫力を感じられる」という回答が上位3つとなっている。

このような意見を参考に、観客が求める観戦エリア・コースを設定し、観戦体験を向上させ、有料観客を獲得していく必要がある。例えば、豊田市 SSSにおいてはアクセスの良さを活かしつつも、ミニジャンプ台の導入などによりコースの迫力を感じられるような工夫を行うなどが考えられる。